

# 議会報

# 飯南

いinan

- 02 6月議会報告  
可決した主な議案
- 03 令和3年度各会計補正予算
- 04 一般質問
- 11 採決の結果
- 12 議員研修をふりかえる
- 14 常任委員会報告  
議会活動報告 全員協議会の議題
- 16 明日を拓く

第66号  
令和3年7月20日



# 6月定例会を終えて

6月8日から18日までの11日間で開催

塚原町長が組織機構改革に着手し、新町政の幕があがる。

「まちづくり推進課」の新設。総務課内に「防災危機管理室」を設置。「こども未来推進室」を住民課に置くなどが主たるものである。

少子高齢化、過疎が進む本町において「まちづくり」は最重要の課題であるとともに、子育て支援や災害（自然災害、新型コロナウイルス）対策など、住民の安全と生命を守る重要な課題もあるなか、町長の手腕を注視したい。

補正予算では、新型コロナウイルス関連の助成や定住促進を中心に5億3千万円余を増額。

## 可決した主な議案

**条例関係** 飯南町課設置条例の一部を改正する条例の制定など3件

**承認** 飯南町税条例等の一部を改正する条例の制定など5件

**予算** 令和3年度飯南町一般会計補正予算(第3号)など4件

**諸議案** 財産（飯南町立頓原中学校スクールバス）の取得  
飯南町の辺地に係る総合整備計画

**報告** 令和2年度飯南町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告など3件

**議員提出議案** 飯南町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

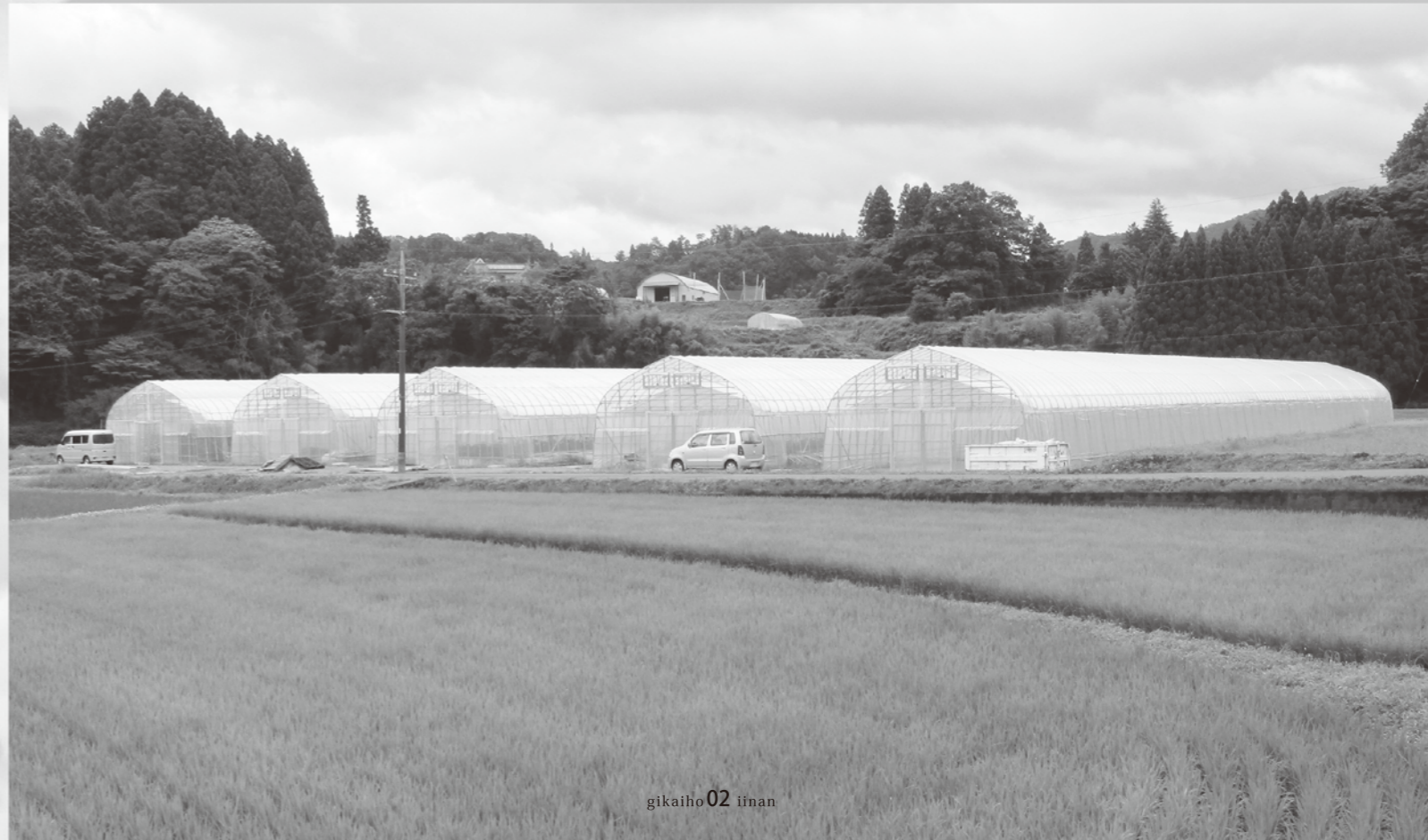


## [令和3年度 各会計補正予算]

定住促進住宅整備事業1億2166万円の増額、商業活性化重点支援事業5900万円の増額、来島消防センター整備事業4678万円の増額など

### 一般会計 5億3477万円 増額

会計名	補正予算額	予算総額
一般会計	5億3477万円	79億1866万円
国民健康保険事業特別会計	7万円	6億1306万円
病院事業会計	419万円	12億6235万円
簡易水道事業会計	673万円	4億2564万円



# 一般質問

6月定例会



内藤 眞一 議員

## Q人口減少対策を問う

所信表明において人口減少対策を重点に取り組むとの表明であった。これは、昨年施行された『地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律』に基づいた、特定地域づくり事業協同組合制度の目的と重なる部分が多い。  
人口減少対策など、新町長として印象的な課をつくり、意気込みを見せて欲しいがいかか。

## A公約に通じる

町長塚原隆昭

特定地域づくり事業協同組合は、私の公約である定住を進めるまちづくりの中で、後継者、担い手を確保するために必要な制度である。今月中に法人として設立予定と聞いている。

この制度を活用することで、若者がこの地域に定着し、一定規模の人口が確保できれば、集落のコミュニティー活動、農地

の保全、伝統行事の保存等集落維持に繋がっていく。正に、重点的に取り組む公約に通じている。  
今回、議案を提出している組織改革にあたっては、若い職員からのユニークな提案もあったが、何を担っている課か、住民が想像しやすく親しみやすい課名とした。



農業活性化センター内に設置

## Q防災訓練中止への対策を

予定されていた防災訓練が、新型コロナウイルス接種と重なり中止になった。一日がかりの訓練は不可能かもしれないが、地区担当と防災担当職員が地区ごとに実施してはどうか。

また、防災危機管理室設置の考え方とコロナ禍での避難所使用のあり方について問う。

## A替わるもので対応

町長塚原隆昭

自然災害や新型コロナウイルス対応など、あらゆる危機に対応するため危機管理室を設けたい。町が即判断、対応しなければならぬことが増えたこともある。防災士資格取得者が45名となり、自主的な防災活動の機運も生まれている。人員体制も強化し、災害に的確かつ迅速に対応できるようにしたい。

防災訓練は中止したが、提案もふまえ、替わるものを行いたい。詳細について検討しており、決定次第説明する。



自主防災組織の話し合い(志々地区)

# 一般質問

6月定例会



高橋 英次 議員

## Q副町長に印象を問う

本町に赴任して2ヶ月になるが、飯南町の印象はどうか。

## A豊かな自然・文化・歴史

副町長奥田弘樹

冬は雪が多い町という印象をもつて赴任した。

暮らしてみても、年齢にかかわらず元気に生き生きと活躍し、自分の町に誇りを持っている人が多いと思った。

豊かな自然があり、四季を体感できる。出雲・石見・備後が交わるエリアで、この地ならではの歴史と文化があると感じた。



## Q町政への取り組み姿勢は

町長は島根県との密接した連携が重要と考え、事業推進の上でも「次期副町長は島根県からの派遣を受けたい」との説明を受けたが、どのように塚原町政に取り組むのか。

## A町長の基本姿勢を重視

副町長奥田弘樹

県庁で26年勤務してきた。財政課で8年、その内3年間グループリーダーを経験しており、予算編成や行政改革に役立ちたい。

町長の基本姿勢である「対話」を重視し、各方面の意見を聞き、職員とも議論を重ね、「ネットワーク・チームワーク・フットワーク」を大切に、町長を補佐し「笑顔あふれるまちづくり」に貢献したい。

## Q目指す目標は

任期中の目標として目指すところはなにか。

## A町長のサポート第一に

副町長奥田弘樹

職務上の目標は、本町の総合振興計画に掲げられた事業を着実に進めることだ。

7月の組織機構改革後の組織が円滑に機能し、役場全体が最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、潤滑油として調整に当たりたい。

## Q学校教育の目標は

目指すところの「飯南町の学校教育」は。

## Aふるさとを想う「郷土愛」を

教育長大谷哲也

本町ではふるさと教育を強く推進しており、ふるさと飯南町を想う「郷土愛」を育んでいきたい。

今後の学校教育について、現状の課題分析、小規模学校・複式学級のメリット・デメリットを十分検証し、関係者との議論の準備を進める時期が来ていると思うが、早急な統合に向けて進めるということではない。

定住対策、教育移住で人口減少対策に取り組むなど、町長部局と一体となって教育環境を守っていききたい。

# 一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

## Q 新型コロナウイルス 感染防止のために

近隣市町での発生状況などがわからないという声をよく聴く。感染防止のうえからも正確な情報を広く町民に知らせるのが得策と思うがどうか。三次市についても情報が少ないが、生活圏である。詳細を知らせたいと思うがどうか。高齢者施設のワクチン接種は終了したとのことだが、感染がゼロになったということではない。従事者への定期的なPCR検査を提案する。高齢者への接種が7月に終了する自治体は、自ら優先接種順位を決めることができる。子どもへの感染防止のため、保育所従事者・小学校職員へのワクチン前倒し接種を提案する。

## A 優先接種はしない

町長塚原隆昭

これまでも、告知放送、文字放送で知らせている。情報を的確にとらまえ、様々な方法で、引き続き正確な情報、感染予防の徹底について知らせていく。

教職員、保育職員は優先順位に該当しないと思うので、キャンセル分で接種していく。



## Q 学童保育の拡充を

本町では、厚生労働省が規定する「放課後児童クラブ運営指針」に則った放課後の子どもの居場所がない。全国状況をみても、人の配置、施設の広さ、財政措置など、どれをとっても不十分である。現状をどう認識しているか。

保育時間の延長など、保護者の切実な思いが寄せられている問題であり、積極的に取り組むべきだがどう考えるか。

保護者が安心して子育てができるシステムを、みんなが考えていく必要があると思うがどうか。

## A 大切なこと

町長塚原隆昭

充実した環境で、居場所を提供することは大切なことと思っている。

## A 長期的視野で

教育長大谷哲也

本町では、厚生労働省の運営指針に基づく児童クラブは



放課後子ども教室(志々地区の「みのりん畑」)

設置できていない。制度の見直し等は言及できない問題である。

運営する組織をつくるなど、抜本的な見直しをしないと実現しないと感じている。まずはいまの体制の中で、できることを少しずつやっていくしかない。長期的に取り組んでいく。保護者が安心して子育てができる町にしたいという思いは強い。

# 一般質問

6月定例会



景山 登美男 議員

## Q 小・中学校へ自動水栓を

新型コロナウイルスの「接触感染」対策としては「こまめに手洗いをする」と言われているが、普通の蛇口では手洗いの後に汚れが再付着し防菌効果が減る。

それに対して、手をかざすだけで水が出てくる「自動水栓」は、特に不特定多数の人が使用する手洗い場の感染予防対策として効果的である。

最近増えてきている新型コロナウイルスの変異株は、子どもへの感染が増えている。仮に学校でクラスターが発生すれば、



自動水栓

次は家庭内感染につながる恐れもある。

そういう観点からも、町内の小・中学校でも自動水栓化すべきと思うが、教育長の考えを問う。

## A 必要な措置を検討

教育長大谷哲也

学校では、手洗い・うがい・マスクの着用や不特定多数が触る箇所などのアルコール消毒など、徹底した感染予防対策を行ってきている。

学校の自動水栓化については、レバー式との比較も含め検討する。

## Q 消防団員の減少

地域住民によって構成される消防団は、火災発生時の初期活動や災害時の避難誘導、救助活動などを担う地域防災力の中核である。

しかしながら、本町の消防団員は、定員300名に対して実員257名となっており、地域防災の担い手をどう確保するかが課題である。

去る4月1日、松江市島根町加賀で32棟が被災する大規模火災が発生したが、日中、消防団員が地域に不在のため参加が遅れ、その結果初期対応が遅れたと指摘されている。

雲南市では、消防団の経験がある方に、火災発生時の消火活動や災害発生時の消防団活動のみに従事し、訓練や式典などへの参加は不要とする「機能別団員制度」を導入したとのこと。参考にすべきと思うがどうか。

## A 人材の確保が基本

町長塚原隆昭

消防団員の減少が続いているが、地域の若者が減少する中で担い手の確保に苦慮している。

消防団OBに現場で消火活動をしてもらう「機能別団員制度」は、県内に導入している自治体もあることから、調査研究するとともに、消防団とも協議しながら検討したい。



消防出初式

# 一般質問

6月定例会



安部 丘 議員

**Q教育魅力化ビジョン 取組みと周知は**

県は令和2年度に「しまね教育魅力化ビジョン」を策定した。平成26年に策定した「第2期しまね教育ビジョン21」を改定するもので、教育の魅力化を前面に出し方向性を示した。

『島根に育ち学んだ自信を胸に、自らの人生と未来を切り拓き、夢や希望を実現する』との思いを、学校・家庭・地域・行政などに関わるすべての人が共有し、相互に連携しながら教育施策に取り組みとしていく。

本町ではどのように教育魅力化に取組み、関係者や町民と共有していくのか。

**A広報誌で特集も**

今年3月に飯南町教育大綱を策定。「魅力ある飯南の学びづくり」「地域で育む教育環境づくり」「一人ひとりが輝く人づくり」の3本柱を進める。

教育関係者は策定段階から深く関わっており、十分に理解している。

住民への周知は「広報いゝなん」に特集を組むなど検討したい。

**Q生徒減への一手 議論への機運を**

学習支援館や飯南キラリ！ドリムアップ、保小中高一貫教育など、飯南高校の存続が危ぶまれた時期に作られた特色ある仕組みは定着し、成果が現れている。大きな財産であり、継続していくことは何より大切だ。

しかしながら、本町の児童・生徒数の推移は憂慮するところ。行き詰る前に、次の一手を検討・議論する事が望まれる。機運醸成の時期と考えるが如何か。

**A全力で取り組む**

昨年から飯南町キャリアパスポートを導入。育てたい7つの資質・能力を具体的に示し「ふるさと飯南町を誇りに思い、社会で役立つ学力を身につけ、前に一歩踏み出す力」を育成していきたい。

これまで進めてきた教育魅力化の取組みは、県下でも先進的なもので、確実に成果は現れている。しかし生徒数は大変厳しい状況で、長いスパンでの新たな取組みが求められる。

その一つとして「飯南高校ブランドデザイン」を策定中であり、これは、地域ぐるみで子どもたちを育てる取組み。また、ICTを活用した「海と山との交流授業」などができれば夢のある話だと思おう。

これまでの取組みは大切に、さらに進化した飯南町ならではの教育魅力化に全力で取り組む。

**Q政府の誤り正せ**

日本は財政破綻すると不安をあおる報道があるが、GDPに対する国債残高が200%である原因は、GDPが低すぎるからだ。国民が豊かなことになるを考えれば、これは解決できる。

労働市場は実質賃金指数の推移、国際比較を見ると、他国は右肩上がりだが給料が増えているが、日本はじりじり、さらさら下がっている。昨年末にはすでに韓国に抜かれたという報道があった。

若年層の給与は大きく下がっている。若者は結婚すらできな

**A町村会で行動**

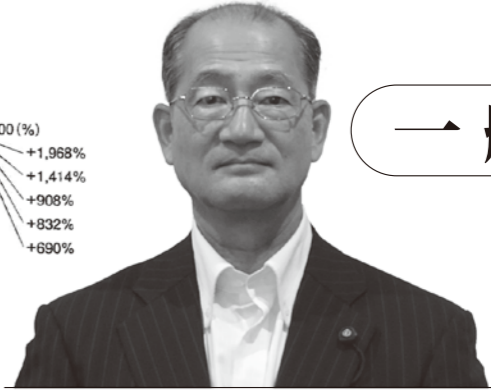
日本は20年以上続く「デフレ・スパイラル」の中にいるのは確かだと認識している。日銀も2%の物価上昇ですら、数年かけても達成できていない。これまで経済大国として確固たる地位を築いてきた日本の経済は、危うい状態にあると言える。

コロナ禍の中、地方の問題に対しては知事会がまとまって政府に意見する、という姿をよく見る。そうした行動に対し、政府は「知事会の意見も尊重する」と回答している。

組織で動くことの重要さは認識しており、町村会の中で町長としての行動を考えていく。知事に対して地方の問題を明らかにして、それをしっかりと伝えるという考えを持ちながら、今後の町長としての行動を考えていきたい。

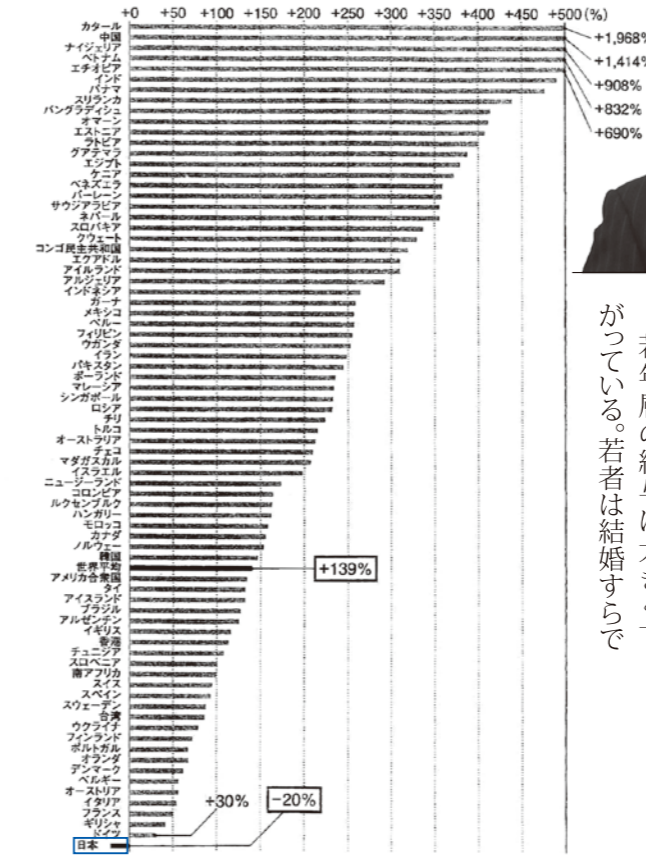
# 一般質問

6月定例会

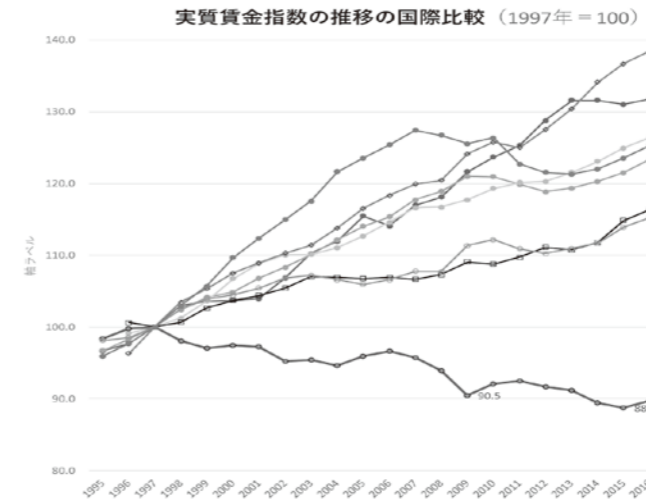


門 眞一郎 議員

図2◎各国の経済成長率ランキング (1995~2015までの20年間の名目GDP成長率)



出典) 藤井聡「10%消費税」が日本経済を破壊する。今こそ貴の「税と社会保障の一体改革」を p.49



出典) econd.statより全労働者作成(日本のデータは毎月労働統計調査によるもの)。注: 民間産業の時給当たり賃金(一時金・時間外手当含む)を消費者物価指数でデフレートした。オーストラリアは2013年以降、第2・四半期と第4・四半期のデータの単純平均値。仏と独の2016年データは第1~第3・四半期の単純平均値。英は製造業のデータのみ。

倒産している。供給力が毀損され、国民需要に対する供給力が不足し、景気が悪いのに物の値段が上がる可能性がある。25年もデフレが続くのは、政府の政策が間違っていると思う。日本はほとんど貧乏になっていく。これ以上、貧しく弱いて弱くしてはいけない。

全国町村会、あるいは議長会、市長会や知事会を巻き込んで「政府は間違っている」と

声あげなければ、次世代にとんでもない付け回すことになりかねない。町長はどう考えているのか。

日本は20年以上続く「デフレ・スパイラル」の中にいるのは確かだと認識している。日銀も2%の物価上昇ですら、数年かけても達成できていない。これまで経済大国として確固たる地位を築いてきた日本の経済は、危うい状態にあると言える。

コロナ禍の中、地方の問題に対しては知事会がまとまって政府に意見する、という姿をよく見る。そうした行動に対し、政府は「知事会の意見も尊重する」と回答している。

組織で動くことの重要さは認識しており、町村会の中で町長としての行動を考えていく。知事に対して地方の問題を明らかにして、それをしっかりと伝えるという考えを持ちながら、今後の町長としての行動を考えていきたい。

町長塚原隆昭





## 採決の結果

### [6月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	瀧尻 行雄	門真 一郎	熊谷 兼樹	内藤 眞一	高橋 英次	景山 登美男	安部 丘
飯南町税条例等の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第12号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町課設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(飯南町立頓原中学校スクールバス)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町の辺地に係る総合整備計画	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### [6月定例会における議員提出議案]

飯南町議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
----------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○:賛成 ●:反対

# 一般質問

6月定例会



熊谷 兼樹 議員

## Q 財政危機に 具体策を

町財政の厳しい状況が執行部から発信された。危機意識の共有を求めることは必要だが、具体策を示すべきだ。

## A 歳入・歳出両面で 対応

町長 塚原隆昭

町債残高は109億円余で、本年度末ピークを迎える。実質公債費比率の上昇を抑えるため繰り上げ償還は必須だが、一般財源からの捻出は厳しく、令和2年度決算では3000万程度の減債基金取り崩しを見込んでいる。

企業誘致による税収、ふるさと納税の推進、公共料金の見直し等による自主財源の確保に努める。  
歳出では、経常経費・人件費の削減、スクラップアンドビルドに努めた事業執行等を行う。

## Q 電気料金の削減を

本町でも令和元年5月から受電の一部を新電力会社に変更し、効果は実証されている。早急に推進すべきではないか。

## A 比較検討し進める

町長 塚原隆昭

一定の効果は確認している。中国電力からも新提案があり、両社を比較検討しながら経費の節減に努める。



## Q 和牛振興を掲げ ふるさと納税増を

和牛振興を掲げ、寄付の増加を図ってはどうか。その寄付で、返礼品の9割を占める和牛肉確保のため、新たな経営者・経営体の育成を図ってはどうか。

## A 広く財源に充当 したい

町長 塚原隆昭

令和2年度は、過去最高の2億4千9百万円の寄付をいただいた。  
提案は、端的に言えば「和牛で儲けたお金をしっかりと和牛振興に使え」と言うことだと思ふ。寄付の目的を特定すれば、広く産業振興の財源に充当できないという事情もあるので、研究課題とさせていたただく。  
新たな経営者の育成には賛同する。

## Q ゴミ処理は 民間委託で

来年4月からのゴミ処理方法の変更により、分別が難しくなっている。試行的に行われているが状況はどうか。  
民間事業者に処理を委託すれば、従来の分別での処理が可能だと聞いた。町民の負担軽減のために検討してはどうか。

## A 方針転換はしない

町長 塚原隆昭

ゴミの新たな出し方には、誤った出し方もあり、6月の自治区長会で改めてお願いする。現在、雲南圏域では次期可燃ゴミ処理施設の検討をしている。ゴミ分別の負担は軽減できるが、新たな検討課題(運搬費、最終処分等)もある。  
既に雲南エネルギーセンターの改修等に投資しており、現時点での方針転換は難しい。

## 議員研修をふりかえる

新型コロナウイルスの蔓延により、遠隔地での視察研修ができぬまま2年が過ぎる。過去の研修のうち、特に印象深かった場所を振り返り、今後に活かしていきたい。

〔平成22年11月〕

### 群馬県川場村

都市農村交流の成功例

## 関東一のうまい米生産

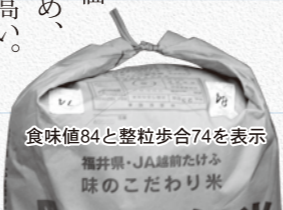
群馬県の東部、赤城山の北側に位置する人口3600人の小村である。



川場村役場会議室にて

ピューターで管理されており、農家の努力が米価に反映されるため、モチベーションが高い。

兵庫県豊岡市からコウノトリが飛来したことがきっかけで、無農薬・無化学肥料に取り組み集落もあり、組合長の放つエネルギーに感化された元氣な農家の姿に感銘を受けた。



〔平成24年7月〕

### 石川県羽咋市

スーパー公務員の手法に感動

## 限界集落再生

限界集落を再生したスーパー公務員高野誠鮮氏に会いたくて、能登半島の付け根である羽咋市を訪ねた。

高野氏は前日にヨーロッパ出張から帰ったばかりということであったが、疲れた様子を見せず、力強い説明を受けた。隣接する農産物直売所の皆さんは、島根からの来客に興味津々であった。

羽咋市神子原地区の米をローマ法王に献上し、国内のクリスマスチャン垂涎の米へと変貌させた顛末を聞

昭和56年に東京都世田谷区と「区民健康村相互協力に関する協定」を結び、区民200名が宿泊できる2施設を開設し、互いの友好を深めている。

都市農村交流の成功例として川場村・世田谷区を訪問し、31年に及ぶ交流の中から、そろばん勘定では説明できない家族のような絆を垣間見た。

リンゴやコメなどの主要農産物はオーナー制度によって、直接区民に販売されており、流通の手に委ねられることが稀であるため、J Aが村から撤退したそうである。

用水は民家の無い、村のシンボルでもある武尊山の麓から、直接圃場へ引き込む水で作られた関東一のうまいコメを生産していた。



地区民で経営する神子原農産物直売所

き、常人の成せる業でないことを悟り、その発想力に度肝を抜かれた。

人工衛星で食味解析を行い、不合格圃場の米は販売拒否、自然農法米でワインを醸造し、パリのレストランへ売り込むなど、将来の農業を熱く語れる集落を目指す。忘れられぬ人との出会いがあった。

〔平成27年12月〕

### 京都府京丹後市

地域医療への理念を学ぶ

## 久美浜病院

平成27年2月に飯南病院と姉妹病院協定を締結した市立久美浜病

〔平成23年6月〕

### 宮崎県西米良村

若者の取り込み力を入れる

## 飲んべえの村

宮崎県で最も小さい村である西米良村は人口1300人である。

若者の定住対策費は一般会計の6・7%にも上り、平成7年から日本型ワーキングホリデーに取り組み、若者の取り込み力を入れている。

今では本町も持っている定住対策は、平成23年時に独身住宅の家賃7千円が8戸、1万円が8戸、結婚報奨金20万円(92組に交付)、出産祝



村内の小川城址公園内「民話の宿」で

院を視察した。

赤木院長から、医師間の支え合いによる意識改革、病院と高齢者施設の協働、内科と歯科の一本化などの説明を受け、その地域医療に対する理念と強い思いを感じた。

飯南病院も、地域包括医療・ケアシステムの構築を目指し推進している。



地域ケアフォーラムに参加いただいた赤木院長

金(第1子5万円、第2子10万円、第3子30万円、以降10万円ずつ加算)、未就学児を養育する親に年額9万6千円を支給、小・中学生の通学バスは無料、給食費月額1700円を助成、修学旅行助成、高校へ進学すれば寮費月額3万円助成などを行っていた。

〔平成24年7月〕

### 福井県越前たけふ市

単独農協として頑張る

## 元氣な農家を

全農から脱退し、単独農協として農家に寄り添う、越前たけふ農協の富田隆組合長に、米のブランド化について聞いた。

武生は古の文豪である紫式部の生地である。ゆえに米は「しきぶ米」という。特徴は食味値と整粒歩合を米袋に表示し、ランクごとに価格が設定されていることだ。良質米は高値で取引し、そうでないものはそれなりの価格で取引している。ラック式低温貯蔵庫で1トンずつコン

〔令和2年2月〕

### 広島県神石高原町

生活交通対策を研修

## タクシー

## 助成制度

神石高原町では、平成16年3町1村での合併以降数度にわたり見直しが行われている。タクシー利用事業では、福祉タクシーと予約制の乗合タクシーを運行したが、乗合タクシーは利用者満足度が低く、定時定路線に変更した。それでも利用者減が続く路線型をあきらめタクシー助成制度を開始した。

この研修で得られた知見は、令和2年度より始まった外出支援タクシー助成事業の検討に活かされた。



町役場で職員から説明をうける

# 常任委員会報告

## 教育経済常任委員会

委員長 門 眞一郎



### 令和3年度 飯南町一般会計補正予算(第2号)

#### 木質バイオマス推進事業 480万円

飯南町バイオマスセンターのストックヤードを拡張するための調査設計費

従来製品は水分量が80%近いものであったため、堆肥センター持ち込み水分量80%以下を満たせなかったが、本事業により目標を達成するとしている。

建屋があればさらに乾燥することができるという意見があったが、アスファルト舗装上にストックして乾燥させる。ストック可能体積を算出するとともに、季節による乾燥状態を検証し、町内需要にこたえる品質を目指す。

#### 審査意見:木質バイオマス推進事業

飯南町木質バイオマスセンターの再開に当たっては、課題を精査し適切な対策を講じ、確実な事業遂行に努め、2度目のつまずきはないように最善を尽くされたい。

### 商業活性化重点支援事業 5900万円

第2次飯南町新型コロナウイルス対策雇用継続等応援金制度第4弾3600万円とプレミアム商品券(飯南とくとく商品券)発行事業2300万円

商品券は従来の紙ベースが8000セット、電子券が2000セット計画されている。電子券は銀行のシステムにより決済することになっているため、手数料が発生する。手数料負担が加盟事業者の負担にならないよう、十分な調査を行った後着手するよう求めた。

### 図書館経常管理費 158万円

郷土資料等の収集と保存管理を行うため、図書館職員増員を図る

頓原図書館を土日休館としていることに対し、住民から不満の声が上がっている。頓原図書館の土日開館を求める意見があった。



頓原図書館

## 全員協議会の議題

令和3年4月26日(月)

- ①防災訓練の実施計画
- ②新型コロナウイルスワクチン接種
- ③飯南高校の新型コロナウイルス感染症対策
- ④島根県中山間地域研究センターの組織再編

令和3年5月28日(金)

- ①役場組織機構改革
- ②新型コロナウイルス対策事業
- ③新型コロナウイルスワクチン接種
- ④子ども医療費助成の支援拡充
- ⑤来島保健センター大規模修繕
- ⑥さつき会館大規模修繕
- ⑦山陰合同銀行の社宅取得
- ⑧飯南木質バイオマスセンター再稼働に向けた今後の対応

令和3年6月17日(木)

- ①火災告知放送の変更
- ②新型コロナウイルスワクチン接種
- ③新型コロナウイルス感染症生活困窮者への支援
- ④令和3年度飯南町成人式

# 常任委員会報告

## 総務厚生常任委員会

委員長 高橋 英次



### 令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第12号)

【歳入】

地方交付税 特別交付税 2542万円

災害や、除雪が多かったことから、3.5%の増となった。

### 条例:飯南町課設置条例の一部改正

組織機構改革による課の再編に伴い、企画財政課・地域振興課を廃止し、まちづくり推進課を設置する。

### 令和3年度 飯南町一般会計補正予算(第2号)

【歳出】

電算等臨時管理費 1362万円

町のホームページを全面リニューアルし、迅速に情報を提供出来るシステムに変更する。

### 定住促進住宅整備事業 1億2166万円

特公賃の定住住宅3棟を板倉構法で整備(八神:7994万円)

定住促進賃貸住宅の用地整備(八神:3071万円)

山陰合同銀行の社宅を定住住宅として取得(頓原:1100万円)

### 小さな拠点づくり推進事業 750万円

内700万円で除雪車1台購入し、谷地区へ貸与する。

運転手のケガ等に適用する保険を明確にしておくよう求めた。

### 子ども等医療費助成事業 193万円

10月1日から、高校生の年代まで医療費助成を拡充する。

### 非常備消防臨時管理費 4733万円

旧来島基幹集落センター跡地に、来島消防センターを整備する。

実施に当たっては、利用する消防分団や地元自治会に説明し、十分協議するよう求めた。



来島消防センター予定地を視察

## 議会活動報告 [4月~6月]

4月 5日 議会広報編集委員会 (紙面校正作業)  
8日 議会広報編集委員会 (紙面校正作業)  
26日 全員協議会

5月 28日 全員協議会

6月 3日 議会運営委員会 (6月定例会の提出議案、日程ほかの協議)  
8日 6月定例会: 本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託  
11日 : 本会議、一般質問  
14~16日 : 委員会審査  
17日 : 委員会審査、予算特別委員会審査、全員協議会  
18日 6月定例会: 本会議、討論、採決  
24日 議会広報編集委員会 (議会広報紙編集作業)  
29日 議会広報編集委員会 (議会広報紙編集作業)



# 農業で儲かる会社を作る

ダイセンアグリ(株)代表取締役社長

山路則幸さん(上来島)

## なぜ農業を選択？

親会社は大鉄産業(本大阪府)  
市)という鉄鉄(たて)商社です。商社の  
立場から見ると、農産物販売で  
収益が上がりにくい理由の一つ  
は「自分の商品の値段を自分で  
決めることができない」ことだ  
と考えています。農業新規参入  
企業の80%が「こんな筈ではな  
かった」と、撤退しているのも  
その為でしょう。当社は農業の  
6次産業化に取り組んでいき  
ます。

## 現在の生産規模や生産品目は？

露地栽培の生姜200a、水  
耕栽培10a、養蜂業、そして今  
年度から養液栽培20aを本格



熱く語る山路社長

的に始めています。水耕栽培で  
は、レタス・サラダ菜・チンゲン  
菜・ミニ白菜・空芯菜を、産直と  
スーパーに販売しています。ま  
た、水耕栽培による山葵の生産  
研究も現在進行中です。養蜂業  
は、メロンの受粉目的で勉強し  
たことがきっかけで事業として  
取り組み始め、収穫した蜂蜜は  
産直や通信販売にて多くのお客  
様からリピート注文をいただけ  
るまでになりました。  
養液栽培は上来島リースハウ  
スで、アールスメロンとトマトを  
生産します。トマトは、アンジェ  
レ(ミニトマト)とサンマル  
ツアーノ(調理用中玉トマト)を  
生産し、今年度は売上200万  
円以上を目指します。

## これからの目標は？

私の使命は農業で儲かる会社  
を作ることです。目標は売上1  
億円、経常利益1500万円です。  
生産品目を増やすので増員  
も必要になります。現在は、正  
社員4名とパート1名ですが、  
その頃には正社員6名とパート  
3名になっていると思います。

設立時の目標は、できるだけ  
飯南町の人を採用すること、特  
に若い世代が地元に残ることに  
役立ちたいと考えています。

将来は施設園芸の設計ノウハ  
ウ(ハード)と農作物の生産ノウ  
ハウ(ソフト)を、合わせて提案・  
販売できる企業になりたいと  
思っています。園芸分野の技術  
改善を行い、日本の食糧自給率  
も中山間地域の少子高齢化問  
題も人口の一極集中も少しずつ  
でも改善できる助けになれば嬉  
しいです。



## 今月の 表紙写真



鉄鉄商社とは、高炉や電気炉などで鉄鉱石を還元して鉄を取り出すという大掛かりな設備が必要な会社。「鉄から畑へ」と、文字通り畑違いの農業に着目したのは「永続的な需要が見込め、かつ技術改善の余地があり、伸びしろもある」と洞察した結果だといえます。そして、頓原の「しょうがの里」の永田光廣さんとの関りが礎となってダイセンアグリ(株)の根幹が誕生したそうです。新しい風を運んで来た会社を育てましょう。

## 編集後記

梅雨末期になり前線が停滞し、豪雨による土砂災害や浸水被害が各地で発生しています。

熱海市では土石流で2人死亡、約20人が安否不明(7月4日報道)となっています。市は警戒レベル4(避難指示)の発令をしませんでした。似たような事案は他の自治体でも時折みられます。

難しい判断を迫られますが、日頃から住民と防災意識の共有を進められている自治体ほど、躊躇せず発令できるのではないのでしょうか。

本町では、7月から防災危機管理室が新設され、防災への取組みを一層強化します。消防や防災士の皆さんと有機的な連携が進み、防災を念頭においたまちづくり、住民ネットワーク作りの進展を見守っていききたいと思います。

さて6月議会も終わり、いよいよ飯南町議会も改選を迎えます。

この4年間、市民の安心・安全を守るため、議員一同切磋琢磨し活動して参りました。その活動を分かり易く、親しみ易い紙面としてお伝え出来るよう、議会広報編集委員一同努力して参りました。皆様に温かく見守っていただきまして誠にありがとうございました。

議会広報編集委員長 安部 丘